ルーテル学院だより

NO.148
2021.12.1
http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405
発行人 石居 基夫

授業探訪 キリスト教の人間観Ⅱ

ジェームス・サック 教授

〈専門分野〉
カウンセリング、牧会カウンセリング、スピリチュアル・ケア
〈主要担当科目〉
キリスト教の人間観、牧会心理、カウンセリング基礎

Q 授業では何を学ぶことができますか。

A この授業では心理学、神学、倫理、人類学、社会的など様々な学問の視点から人間を理解し、存在や生きがいを探ることをします。当然にキリスト教の人間観に基づき考察することを大切にしています。

Q 授業ではどのような視点を大切にしていますか。

A 日本の中等教育で今まであまり具体的に取り上げられてこなかったのが、自分を表現したり、さまざまな問題に対して自分の意見を述べたりすることです。大学では社会に出て活躍するための準備が必要となります。そのためには問題を適切に理解し、他者と協力して問題を解決する能力が必要だと思います。まず自分がどのように考えているかを自覚し、意見を他者に伝えることが大切です。そして、意見を出しあった上で、チームとして問題の解決方法を考えていきます。そのため、この授業では自分の考えを整理し、相手に伝えられるようになることを目指しています。また、相手の意見を正確に聞き、理解することも必要です。みんなが自分の考えを共有できれば、チームで協力して解決策を見つけやすくなります。

学生の中には、「間違っていると思われたくない」「他の人の意見が多数を占める中、自分の考えを伝えたくない」といった思いにより躊躇することがあるかもしれません。しかし、この授業では「正しい意見も間違った意見もない」という信念を繰り返し伝えるようにしています。一人ひとりに意見を持つ権利があり、その意見に自信をもってもらいたいのです。

Q この授業の特徴は何ですか。

A それぞれの経歴や過去の経験に基づき、様々な意見を分かち合うことで、より広い範囲での理解が得られます。言い換えれば、「真実は一つの面だけではない」ということだと思います。自分の視点から情報を得るだけでは問題を完全に理解することは無理なときでも、他の視点からの意見を知ることにより、その課題についてよりよい理解を得ることが可能です。

Q 授業はどのような形式で行いますか。

A 学生が3~5人程度の小グループに分かれて、各グループで人や家族が直面しているジレンマのケーススタディを作成します。ジレンマとは、「2つ以上の選択肢の中から難しい選択をしなければならない状況」と定義されます。どのような選択肢を選んでも、その選択には問題が残ります。問題に直面している人を完全に満足させる選択肢はありません。そこで自分達のジレンマとその背景を説明し、そのジレンマを部分的に解決するための様々な選択を提示します。先に述べたように、選択肢には「正解」も「不正解」もありません。プラスとマイナスの面があるだけです。どの選択肢を選ぶかは、その人の考えや人生の経験などによって決まります。

人はそれぞれ経歴や過去の経験を持っているので、それぞれの選択肢のメリット・デメリットは人によって異なります。選択肢のプラスの面とマイナスの面について真剣に話し合うことで達成することができます。難しい問題を理解し対応するためには、複数の方法があることを全員が理解できれば自分以外の意見を聞くことにつながります。学生達が自分の意見を客観的に伝えることと他者の意見を聴くことができれば、どんな難しい問題でも豊かな議論になると思います。

「希望ある明日を描こうプロジェクト」報告

チャプレン 河田 優

「子どもたちに笑顔を届けよう！」と市川一宏教授から声を掛けられたのが7月中旬のことでした。コロナ禍にあり社会の様々な問題が深刻化する中で、日々懸命に生きている子どもたちに笑顔を届けたい。元気を取り戻してもらいたい。その思いの中、市川研究室とキャンパスキリスト教センター共催で「希望ある明日を描こうプロジェクト」を実施したのです。その活動は、三鷹市の子ども食堂を利用する子どもたちに文具品を贈ることでした。学内に参加を呼び掛けると学生たちから、引き出しの奥に眠っていた未使用の色鉛筆やノートなどが次々と届けられてきます。また卒業生たちからも箱詰めにされた様々な文具品が届くようになりました。「誰かの役に立ちたい。その想いをカタチに。」はルーテル学院のスローガンの一つですが、まさに「ルーテル」の名のもとに一人ひとりの思いがカタチとなって表されていったのです。

山のように積み上げられた文具品や絵本は、8月には三鷹市社会福祉協議会を通して三鷹市7か所の子ども食堂に届けられました。また十分に行き渡った後も子ども家庭支援センターや学習支援団体、児童養護施設の子どもたちにも届けられることになりました。困難な中にあっても私たちは希望ある明日を描き続けることができます。そのことを改めて教えられたのがこのプロジェクトでした。ご協力いただき、共に希望を描いてくださった方々に心から感謝いたします。

オンライン海外研修「子供の教育と福祉を学ぶ3日間with フィリピン」の実施

オンラインで学ぶ社会福祉

教授 原島 博

2020年度はコロナ感染が世界に広がり、本学の国際交流プログラムを中止せざるを得ませんでした。この間、海外とインターネットをとおしてつながることが進みました。

そこで留学ジャーナル社と日本福音ルーテル社団の協力を得て、オンラインによる海外研修を企画しました。2021年9月8日から3日間のプログラムに8名が参加して、オンラインを通してフィリピンの児童養護施設を訪問して、そこで生活をする子どもたちとソーシャルワーカーとの交流を行いました。また、ソーシャルワーカーとの座談会や現地の大学生との交流の機会をもちました。

参加者のなかから2名の学生に参加した感想を聞きました。

社会問題を仲間と学ぶ

子ども支援コース1年 神代 和香

私は、今まで自主的な行動をしてこなかった自分を変えたいと思い、また世界の支援を必要とする子どもたちを知りたいと思い、オンライン研修に参加しました。フィリピンの児童養護施設の子どもたちとパワーポイントを使って交流をしたり、ソーシャルワーカーと対談をしたり、現地大学生との座談会、フィリピンの社会問題についても学ぶことができ、充実した研修でした。

私は、最初は現地の人との交流や発表が上手にできるかとても不安でしたが、一緒に参加した仲間と、できないところは補い、助け合いながら無事にやりとげることができました。実際に現地を見てみないとわからないこともありますが、今回の研修は知見を広げる貴重な体験になりました。

夢実現に向け他国情勢の把握

子ども支援コース4年 三澤 拓也

私が、オンライン海外研修に参加した理由は、将来の夢のために必要な体験だと思ったからです。研修では、現在のフィリピンの汚職やドラックの流通、日本企業の工場での労働・賃金問題等が長年続いていることを知り、他人事ではないと感じました。これらの原因・要因として、政府のガバナンスの低下、ビジネス・マーケティングの利益優先などがあると思います。このようなことは、フィリピンやその他の国だけでなく、日本でも起きており、これらの問題を解決するには、私を含む若者が今起きている現実を受け入れ、他国の若者とも議論を重ねていき、共に解決への道を見つけ出し、実行していくことが本当に必要だと考えさせられる研修になりました。

本プログラムは、日本福音ルーテル社団より助成金を受けて実施されました。

「ルーテル学院大学の大学院 ―開設から21年を経て―」

大学院研究科長　**福島喜代子**

ルーテル学院大学の大学院は2001年に社会福祉学専攻の博士前期課程、2004年に社会福祉学専攻の博士後期課程を開設し、昨年度創立20年を迎えました。2012年からは認定社会福祉士・認定機構による認証研修の提供もしています。

2005年には、臨床心理学修士課程が開設され、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院となりました。そして、2018年からは公認心理師に対応したカリキュラムの提供をし、両資格試験の高い合格率を誇っています。

研究の内容を垣間見ると、社会福祉学専攻では、「重度のためこみ状態にある住宅（いわゆる〝ごみ屋敷〟）に居住する高齢者」「老障介護家庭における知的障害者」、「高齢者虐待防止」「子どものグリーフ」「住民の福祉活動形成」などをキーワードとする博士論文が書かれ、ほとんどが出版されています。また、「高次脳機能障害」「母子生活支援施設」「地区社会福祉協議会」「外国人多文化ソーシャルワーカー」「児童指導員の専門性」「成年後見人」などをキーワードとする修士論文は、現場のソーシャルワーク実践の参考とされる研究となっています。

臨床心理学専攻では、「終末期がん患者の感情抑制」「女性の関節リウマチ患者におけるSOC」、「大学生における〝キャラ〟の受け止め方と自我同一性発達」、「大学生における屈辱体験とストレス・コーピング・スキル」などをキーワードとする修士論文が書かれています。これらの研究を行った過程や結果は、修了生が臨床心理士・公認心理師として行う面接や心理検査にも生かされ、高い評価をされています。

大学院の教育課程は、社会福祉及び臨床心理学両専攻で履修可能な科目もあり、実践的な講義と、実りある実習が提供され、修了生は社会福祉や司法・教育・産業分野などで目覚ましい活躍をしています。

高校生のみなさん、在学生のみなさん、是非、ルーテル学院大学の大学院への進学も視野に入れてください。お待ちしています。

手話サークル紹介

地域福祉開発コース3年　**川端　穂華**

私が所属している手話サークルは約45名の部員がいて、3年生が中心となり活動しています。大学に入って手話を学び始めた人がほとんどで、日常生活で会話できる手話や指文字を勉強します。聴覚障害を持つ学生も数人いて、直接教えてもらうことができるところもサークルの魅力の一つです。

コロナ禍の前は、愛祭（めぐみさい）（学園祭）で手話歌を披露したり、他大学の手話サークルとの交流会を開いたりしました。また、夏合宿でも、手話をより学び、メンバー達と関係を深められるようゲームなどをやってきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、対面授業ができず、去年の1年間はほぼ活動できませんでした。今年に入り、少しでも活動ができたらいいなという想いから、Zoomを使った新たな活動に取り組んでみました。実習やインターンなどで忙しい中、会議を何回か開いて企画を考えてきました。今の状況ではできることが限られてしまうため、やりたい企画があっても実行が難しいということが多く、とても悩みました。Zoomで初めて1・2年生と顔合わせをした時、今まではメールでのやり取りしかできなかったので、顔を合わせて交流ができ嬉しかったです。そして、一緒に取り組んでくれる仲間がいるおかげで、こうやって活動できると感じました。これからもより楽しい企画ができるよう考えていきたいと思います。

九州ルーテル学院大学との職員相互研修報告

事務長　**坂田　好和**

熊本県にある九州ルーテル学院大学と東京にあるルーテル学院大学は、ともにルーテル教会が設立した大学ですが、法人は異なる大学です。

その2つの大学が、同じルーテルの大学として、交流協定を締結し、職員同士が研修も行ってきました。

これまで、それぞれの大学に赴いて研修を行ってきましたが、コロナ禍にあっては長距離の移動は難しく、昨年に引き続きオンラインで相互研修を実施しました。

教学関連、学生支援関連、入試広報関連、総務・経理関連の情報交換を行い、日々の業務における些細な質問についてもやりとりをし、充実した時間をもつことができました。法人は異なっても同じルーテルだからこそ、協力し合える関係を築いています。

大学では、教育向上のため、学生支援のため、組織運営のため、様々なテーマで研修を行っています。これらの研修を通じて、在学生のためにも、新たに入学してくる学生の皆様にも、この大学に入学してよかったと思っていただけるよう研鑽を重ねています。

行事予定 12月～3月

12月15日(水)	クリスマス礼拝
12月21日(火)	通常授業終了
1月7日(金)	授業再開
1月20日(木)	通常授業終了
1月21日(金)～27日(木)	後期試験期間
	レポート提出期間
3月11日(金)	卒業式

卒業式報告

臨床心理学専攻主任　**植松　晃子**

9月29日に前期卒業式が挙行されました。人間福祉心理学科2名、総合人間学研究科社会福祉学専攻博士前期課程1名、社会福祉学専攻博士後期課程1名、臨床心理学専攻修士課程5名が卒業しました。

感染防止対策のため保護者の列席はありませんでしたが、教職員がチャペルにて参列して開催されました。石居学長から聖書の言葉とともに説教がありました。そして、パイプオルガンの演奏に続き、卒業証書授与が行われました。福島研究科長ならびに田副学科長が卒業生の名前を紹介し、学長より一人一人に卒業証書が授与され祝辞が贈られました。式後は所属の教員と記念撮影をしました。

毎年9月の卒業式でささやかに設けられていたお茶会は、やはり今年も出来ませんでしたが、教員は式典の場を共にすることができ、讃美歌を、小さな声ではありますが、皆で歌うこともできました。卒業生は式典用のガウンを着用することもできました。これまでの「卒業式」が少しずつ取り戻されてきたのだろうかと、はじめは思っていました。しかし式が進むにつれ、一つ一つ感染症対策を検討し、列席は叶わずとも、卒業生のために式に携わってくださった全ての方々の努力によって、新たに作られた卒業式なのだと実感するに至りました。

当日は晴天に恵まれました。秋の広く高い青空のもと、卒業生の笑顔は清々しいものでした。皆、無事に卒業式を終えた喜びと共に、大学・大学院を巣立っていきました。

入試日程

選抜方式		区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
総合型選抜		Ⅲ期	11/29(月)～12/10(金)	12/18(土)	12/24(金)	12/27(月)～1/14(金)
		Ⅳ期	2/7(月)～2/18(金)	2/24(木)	2/28(月)	3/1(火)～3/14(月)
		Ⅴ期	2/21(月)～2/28(月)	3/5(土)	3/11(金)	3/14(月)～3/18(金)
一般選抜	スカラシップ型		1/7(金)～1/25(火)	2/3(木)	2/10(木)	2/14(月)～2/25(金)
	一般試験型			2/8(火)		
	大学入学共通テスト利用型	Ⅰ期	1/7(金)～1/25(火)	—	2/10(木)	2/14(月)～2/25(金)
		Ⅱ期	2/7(月)～2/18(金)	—	2/28(月)	3/1(火)～3/14(月)
		Ⅲ期	2/21(月)～2/28(月)	—	3/11(金)	3/14(月)～3/18(金)
社会人入試（1年次、編入学）		Ⅱ期	1/7(金)～1/25(火)	2/8(火)	2/10(木)	2/14(月)～2/25(金)
		Ⅲ期	2/21(月)～2/28(月)	3/5(土)	3/11(金)	3/14(月)～3/18(金)
編入学入試		Ⅱ期	1/7(金)～1/25(火)	2/8(火)	2/10(木)	2/14(月)～2/25(金)
		Ⅲ期	2/21(月)～2/28(月)	3/5(土)	3/11(金)	3/14(月)～3/18(金)
留学生入試（1年次、編入学）		Ⅱ期	1/7(金)～1/25(火)	2/8(火)	2/10(木)	2/14(月)～2/25(金)

入学試験要項・願書は本学のホームページからダウンロードしてお使いください。
入試についてご質問のある方、個別相談を希望される方は下記までお問合せください。

お問合せ　電話 0422-32-2949　メール koho@luther.ac.jp